

《 郷土学習 安居みらい塾～資料室のお宝再発見～ 》

公民館の資料室には、地域の方のご厚意で集まった昔の生活用品・農機具や戦争に関する品々など、貴重な歴史資料が展示されている。市内でもこんなすばらしい資料室を備えている公民館は安居だけである。

この資料室を更に見やすくし、親しみの持てる活きた歴史学習の場にするを目的として、この講座を開講した。

参加者を募ったところ数名の有志が集まり、月1、2回集まり活動を続けている。

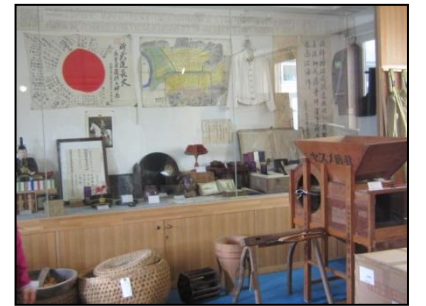
が、なにぶん資料展示に関して初心者ばかりなので、方向性を探る為学習会をしたり、他の施設の視察をしたりと多様な活動を行っている。

どうもいばらの道になりそうだが、皆意欲的で、毎回笑いの絶えない楽しい学習会を実施している。

今からでも間に合います。あなたも一緒に活動しませんか？



5月に開講し、早速資料室の中を見学しました。歴史を語る貴重な品々があるけど、雑然としていて、分類する必要を感じました。



旧清水町の滝波には、歴史上貴重な仏像群として県文化財に指定されている「五智如来」が安置されている。その中の大日如来の修復が完成されたと聞き、見せて頂いた。滝波自治会長からその歴史や修復について説明をして頂いた。



市の郷土歴史博物館館長と、自然文化財保護センター職員をお招きし、専門家としての計画立案・手法を学びました。目からうろこの話もあり、まず第一歩を歩み出しました。



これが、その大日如来です



「学ぶは真似る」他の資料館の視察を行いました。安居とほぼ同じ目的で作られている「越廼ふるさと資料館」と「清水郷土資料館」へ行ったが、両館とも市が管理しているだけあって素晴らしいものでした。自分達にできるか、ちょっと不安がよぎったかも！？



越廼資料館は、生活シーンが再現しており大変分かりやすくなっている。



収蔵物を少しでも地域の方に見ていただこうと、安居ふれあいまつりで「安居の暮らしと灯り」展を開催し、会場で昔の灯りを再現しようという事となりました。皆一丸となって煤けたランプを磨いたり、芯を作り直したり…でも残念なことに、会場内での火の使用は禁止されたので、品を展示するのみとなりました。



提灯を下げる台の設計図も出来ました。役者も揃っていますよ。



何と、昔田植えで使った枠を再利用し、行燈を作りました。お楽しみに！

